

第4回

北区リレーションシップ協議会会議録

平成30年7月5日

第4回 北区リレーションシップ協議会

開催日時 平成30年7月5日(木)

開会 午後7時00分 ~ 閉会 午後8時10分

出席委員(18人)

- 座長 東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科 齊藤 恭平
副座長 北区町会自治会連合会 尾崎 眞一
委員 北区スポーツ大使 高橋 勇市
委員 日本スポーツ振興センターハイパフォーマンスセンター運営部 河村 弘之
委員 東京都障害者総合スポーツセンター 高山 浩久
委員 東京都北区体育協会 根本 貞義
委員 北区総合型地域スポーツクラブ れっど★しゃっふる 吉村 実花子
委員 北区総合型地域スポーツクラブ コミスポたきのがわ 大竹 秀樹
委員 北区スポーツ推進委員協議会 二村 正徳
委員 北区商店街連合会 尾花 秀雄
委員 北区文化振興財団 石山 泰史
委員 北区立小学校体育会 清水 勝一
委員 北区立中学校体育会 綿貫 正人
委員 北区立小学校PTA連合会 岡村 和俊
委員 北区青少年地区委員会会長会 鈴木 将雄
委員 北区政策経営部長 中嶋 稔
委員 北区地域振興部長 浅川 謙治
委員 北区教育委員会事務局教育振興部長 田草川 昭夫

欠席委員(6人)


- 委員 北区スポーツ大使 上田 春佳
委員 北区スポーツ大使 石野 枝里子
委員 東京商工会議所 越野 充博
委員 東京北区観光協会 大前 孝太郎
委員 北区立中学校PTA連合会 坂場 正岳
委員 北区青少年委員会 清水 恒明

次 第

1 開会

2 座長あいさつ・副座長新任あいさつ

3 議題

- (1) 北区リレーションシップ協議会設置要綱の一部改正
- (2) 平昌 2018 オリンピック・パラリンピック冬季競技大会応援事業報告
- (3) 東京 2020 大会カウントダウンイベントの開催について
- (4) 東京五輪音頭-2020-の取組状況について
- (5) ROUTE2020 トレセン通り関連事業について
- (6) 東京 2020 大会参加の他国競技団体の事前キャンプ誘致について
- (7) その他

4 今後のスケジュール

5 閉会

午後 7 時 0 0 分開会

【齊藤座長】 さて、それでは、定刻になりましたので、まだお集まりでない方もいらっしゃると思いますが、ただいまから第 4 回の北区リレーションシップ協議会を開催したいと思います。

本日は、お忙しい中、ご参加いただきましてありがとうございます。本協議会の座長を務めております、東洋大学の齊藤でございます。よろしくどうぞお願いいたします。

初めに、この会議の進行について説明させていただきます。本日の会議につきましては、議事録作成のため音声を録音させていただきます。ご発言の際は、事務局がマイクをお持ちいたしますので、ご使用願います。

また、会議の活動記録作成のため、会議の風景写真を撮らせていただきます。あわせて、映像のほうも撮らせていただきたいと思います。今日は、地元のJ:COMさんが撮影で来ていらっしゃいます。

ちなみに、これはデイリーニュースという形で、7月6日の17時30分以降に流れるということになってございます。

また次に、この会議は公開での開催というふうになりますので、傍聴を希望される方が会場に入っておりますので、あらかじめご了承くださいというふうに存じます。

それでは、本日の資料について事務局のほうから確認をさせていただきます。よろしくどうぞお願いします。

【事務局】 事務局です。それでは、資料の確認をさせていただきます。

私、東京オリンピック・パラリンピック担当課の担当主査の大熊と申します。どうぞよろしく申し上げます。

まず、こちらの資料をご覧ください。まず、1枚目は次第になっております。次第の次に、資料一覧がございまして、資料一覧になっておりまして、その以降が各資料になっております。右上に資料番号が振っておりますので、ご確認ください。

資料1が、本協議会構成員名簿です。

資料2、本日の席次表でございまして。

資料3以降は、次第でいいますと、3の議題の資料になります。資料3、北区リレーションシップ協議会設置要綱で、2枚のホチキスどめをしてあります。

資料4です。平昌2018オリンピック・パラリンピック冬季競技大会応援事業報告で、両面印刷となっております。

資料5です。東京2020大会カウントダウンイベントの開催についての資料で、両面刷りとなっております。

資料5-1は、2年前カウントダウンイベントに参加されるアスリートの紹介の資料となっております。

資料5-2は、資料番号は載っていませんが、7月29日に実施する2年前イベントのチラシの現物をご用意させていただきました。

資料6です。「東京五輪音頭-2020-」取り組み状況で、片面1ページとなっております。

資料7です。ROUTE2020トレセン通り関連事業についてのものです。2枚でホチキスどめして、3ページまでのものとなっております。

最後に、資料8で、東京2020大会参加の他国競技団体の事前キャンプ誘致についてで、片面1枚となっております。

あと、資料一覧には記載されていませんが、北区が2017年6月に策定しました、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた北区の取り組み方針についてのリーフレット並びに東京2020大会をPRしていくための公式のリーフレットを席上に配付しております。

あと、資料以外にも皆様には啓発グッズをご用意いたしました。まず、東京家政大学の学生がデザインしたクリアファイルが3種類ございます。その1種類の中に、東京家政大学が発行した東京家政大学、東洋大学と北区の3者がコラボして、東京2020大会に向けて取り組んだ内容の報告をしたチラシのほか、東京2020大会エンブレムのピンバッジ、来年、日本で開催するラグビーワールドカップ2019のエンブレムのピンバッジ、北区が「トップアスリートのまち・北区」をPRするために作成したミニタオルとボールペンが入っております。

さらに、東京商工会議所の北支部様のご厚意により、東京2020大会の公式のうちわと、東京商工会議所北支部様が発行した北区の地域情報誌、「北区時間2018」を配付させていただいております。

以上が、配付させていただいた資料などですが、不足な点はございますでしょうか。

それでは、資料の確認を終わりにさせていただきます。座長、お願いします。

【齊藤座長】 ありがとうございました。

続きまして、2番の座長挨拶ということになっておりますが、私のほうから一言という

ことですが、今年はサッカーのワールドカップということで、先日はちょっと残念な結果に終わったんですが、そういう意味でサッカーというスポーツで盛り上がりまして、来年は、今度はラグビーのワールドカップが日本で開催されるということで、そういう意味でもまた盛り上がりがあるかと思えます。

いよいよ、その翌年はオリンピックということで、今年度はカウントダウンイベント等、さまざまなイベントが行われる予定であります。

この会議は、リレーションシップ会議ということで、関係づくりというところが目的であったと思うんですが、年に2回ということで、なかなか関係構築も難しい部分があるんですけれども、できる範囲の中で、オリンピックの機運醸成のために、皆様ご協力いただければというふうに思えます。

よろしくどうぞお願いいたします。

それでは、今回新しく副座長が着任されましたので、副座長さんのほうから一言ご挨拶を頂戴しようと思えます。よろしくどうぞお願いします。

【尾崎副座長】 私は、北区町会自治会連合会の副会長を仰せつかっておる尾崎眞一と申します。どっちかという、学生時代から水泳をやっております、体育会系の男なので、水に入っておった関係か、皆さんとウマが合うのかなと思えますので、これからもよろしくお願ひしたいと思えます。

よろしくお願ひします。

【齊藤座長】 では、実は次第にはないんですけれども、今回新しく着任された委員の方が多いということですので、簡単にご所属とお名前だけで、自己紹介をお願ひしたいなというふうに思っております。

失礼ながら、副座長の隣の尾花様から順に、事務局も含めてぐるっと一回りということで、お願ひしたいと思えます。よろしくどうぞ。

【尾花委員】 こんばんは。北区商店街連合会の尾花と申します。どうぞよろしくお願ひします。

【石山委員】 北区文化振興財団事務局長、石山でございます。よろしくお願いいたします。

【清水委員】 北区小学校体育会から参りました、としま若葉小学校の清水と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

【綿貫委員】 北区立中学校体育会会長をしております、赤羽岩淵中学校の綿貫と申します。よろしくお願いいたします。

【岡村委員】 こんにちは。北区立小学校PTA連合会会長をさせていただいております、としま若葉小学校のPTA会長、岡村でございます。よろしくお願いいたします。

【鈴木委員】 北区青少年地区委員会会長会の会長を務めております、東十条青少年地区委員会会長の鈴木です。よろしくお願いいたします。

【事務局】 皆さん、こんばんは。東京オリンピック・パラリンピック担当課長、石丸です。こちらから紹介します。担当岩崎です。

【事務局】 よろしくお願いいたします。

【事務局】 担当藤井です。

【事務局】 よろしくお願いします。

【事務局】 係長の大熊です。担当西園です。

【事務局】 よろしくお願いします。

【事務局】 担当末永です。

【事務局】 よろしくお願いします。

【事務局】 どうぞよろしくお願いいたします。

【浅川委員】 こんばんは。地域振興部長の浅川と申します。今こちらで事務局をしておりますオリンピック・パラリンピック担当課を所管する部長ということで、本日出席をさせていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

【田草川委員】 こんばんは。北区教育委員会事務局の教育振興部長、田草川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

【中嶋委員】 こんばんは。北区の政策経営部長の中嶋です。よろしくお願いいたします。

【二村委員】 こんばんは。北区スポーツ推進委員協議会で会長をしております、二村と申します。よろしくお願いいたします。

【大竹委員】 こんばんは。1月に開設いたしました総合型地域スポーツクラブ、コムスポタきのがわの理事長の大竹と申します。よろしくお願いいたします。

【吉村委員】 総合型地域スポーツクラブれっど★しゃっふるの吉村と申します。よろしくお願いいたします。

【根本委員】 こんばんは。北区体育協会の専務理事をしております根本でございます。今後ともよろしくお願いいたします。

【高山委員】 こんばんは。十条台にあります東京都障害者総合スポーツセンターの高山でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

【河村委員】 皆さん、こんばんは。日本スポーツ振興センターハイパフォーマンスセンターの運営部長をしております河村と申します。私どもの法人は、北区西が丘のほうに国立スポーツ科学センターとナショナルトレーニングセンターを設置して、運営をさせていただいております。よろしくお願いいたします。

【高橋委員】 こんばんは。北区のスポーツ大使をしております高橋勇市です。よろしくお願いいたします。

【齊藤座長】 それでは、今年度こういうメンバー構成で運営してまいりますので、よろしくどうぞお願いいたします。

それでは、早速議事のほうに入ってまいりたいと思いますが、まず、最初になります。

(1) というところで、北区リレーションシップ協議会設置要綱の一部改正について、こちらのほうを事務局のほうからご説明願います。

【事務局】 事務局です。説明いたします。

それでは、議題の1番でございます。北区リレーションシップ協議会設置要綱の一部改正についてでございます。

資料3をご覧ください。改正箇所でございます。1枚おめくりいただきまして、別表の

1（第3条関係）というところがございます。

区分スポーツの4番に、北区スポーツ大使、こちらは、スポーツ大使が1名ふえましたので、スポーツ大使の枠が3名になりました。そして、行政の5、6、7番は番号が先送りになったということがございます。

続いて、別表2の第3条関係でございます。まず、スポーツ区分のナンバーの1でございます。独立行政法人日本スポーツ振興センターハイパフォーマンスセンター運営部となっておりますけれども、こちら組織の名称が変わりまして、以前は西が丘管理部とおっしゃっていたところが、ハイパフォーマンスセンター運営部という名前に変わったというところがございます。

スポーツの5番でございます。先ほど自己紹介いただきました、コミスポたきのがわ、総合型地域スポーツクラブということで、こちらは1つ増えたところがございます。

以下は、番号の先送りというところがございます。

以上が、北区リレーションシップ協議会設置要綱の一部改正でございます。どうぞよろしく願いいたします。

【齊藤座長】 ご説明ありがとうございます。ここに別表1、別表2の構成内容に関する変更というところございましたが、ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

特になければ、お認めいただいたということにしたいと思います。

では、次、（2）にまいります。

平昌2018オリンピック・パラリンピック冬季競技大会応援事業の報告に関して、事務局のほう、よろしくどうぞお願いします。

【事務局】 事務局です。説明させていただきます。

それでは、資料4をごらんください。平昌2018オリンピック・パラリンピック冬季競技大会応援の事業報告でございます。

1 番の概要でございます。2月に行われました平昌2018オリンピック・パラリンピック北区在住、それから、アスリートを雇用する区内企業から、出場選手がたくさんおりましたので、北区全体で応援を行ったというところでございます。

2 番の北区ゆかりのアスリートでございます。(1)のオリンピックのほうでございます。①としまして、アイスホッケーの女子日本代表の小池詩織選手。こちらは、日本製紙総合開発に所属してございます。②がフリースタイルスキーの女子ハーフパイプ、鈴木沙織選手でございます。こちらは、城北信用金庫に所属してございます。

(2)はパラリンピックのほうでございます。①がパラアルペンスキーの小池岳太選手、北区在住でございます。②がパラアイスホッケーの上原大祐選手、北区在住ということでございます。

3 番の応援内容でございます。(1)壮行会、鈴木沙織選手ということで、2月11日に北とぴあ1階の区民プラザで開催いたしました。来場者数は120名ということで、地元の山形県の方々も随分参加していただきまして、大変盛り上がったところでございます。

裏面をごらんください。(2)のパブリックビューイングでございます。こちら、会場は北とぴあの1階の観光のブースで放送を流したところでございます。①がアイスホッケーの女子日本代表ということで、2月10日、12日、14日、日本代表の試合を放映いたしました。

②のフリースタイルスキーの女子日本代表ということで、2月19日と20日放映したところでございます。来場者数につきましては、お示しのとおりでございます。

(3)のその他といたしまして、懸垂幕の掲出ということで、北区役所の第二庁舎にそれぞれの選手のお名前を掲出したところでございます。

それぞれ報告会といったことで、区長に表敬訪問に来たところ等々の写真がこちらに載っているところでございます。

以上が、平昌2018オリンピック・パラリンピック冬季競技大会の応援事業の報告でございます。よろしくお願いいたします。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

それでは、ただいまの報告に関して何か質問、ご意見等ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

特になければ、では、この報告をお認めいただいたということにしたいと思います。ありがとうございます。

続いてまいります、（3）になります。東京2020大会カウントダウンイベントの開催についてということで、こちらのほうも事務局でのご説明になります。

【事務局】 事務局で説明いたします。

それでは、資料5をご覧ください。議題の3でございます。東京2020大会カウントダウンイベントの開催でございます。

趣旨でございますけれども、こちら、区民の意識、関心が高まる記念日に絡めましてスポーツイベントを実施し、東京2020大会の開催のさらなる機運の醸成を図るとともに、オリンピック・パラリンピック関連施設を区内に有する北区ならではのイベントということで、こちらの「トップアスリートのまち・北区」としての取り組みを発信していくというところでございます。

2番の開催内容でございます。これ今後の予定ということになりますけれども、（1）開催の概要。名称が「トレセン通りウォーク・スポーツフェスタ【T o k y o 2020 2 Y e a r s t o G o !】」という名称でございます。主催が北区で、協力はお示しの業者さんでございます。

日程が、今月の7月29日の日曜日10時から14時半を予定しております。会場は、赤羽スポーツの森公園競技場とその他、この周辺のROUTE2020トレセン通り周辺の赤羽西地区というところでございます。

対象は、参加自由ですが、一部事前申し込みの事業もございます。参加料は無料です。

参加賞としまして、参加者全員の参加賞と、ウォーキングの方には完歩賞というものをお配りする予定でございます。

参加のアスリートでございますけれども、後ほど資料5-1のほうでご説明させていただきます。

(2) イベントの概要でございます。こちらも後ほど資料5-2のほうで、ご説明させていただきたいと思っております。

裏面をご覧ください。②-1、こちらはウォーキングということなんですけれども、コースをA、Bと2つに分けます。それで、北京オリンピックの女子マラソン代表の中村選手もウォーキングに参加していただくということを予定しております。

Aコースが2.3キロということなんですけれども、赤羽スポーツの森公園競技場からトレセン通りを南に行きまして、姥ヶ橋の手前を折り返しまして、稲付西山公園から味の素ナショナルトレーニングセンターの中を通らせていただきまして、また競技場に戻るというコースでございます。

Bコースが3.2キロということで、赤羽スポーツの森公園競技場から、弁天通り沿いを通りまして、弁天池、それから、七福神広場、これがちょうどビビオの前になりますけれども、ここを給水所といたしまして、静勝寺を通りまして競技場に戻るというコースでございます。

競技場内の②-2でございます。スポーツイベントでございます。こちらは、かけっこ教室、それから、サッカーのトップアスリート直伝教室、ノルディックウォーキング、ボッチャ体験、ターゲット・バードゴルフ、視覚障がい者の5人制サッカー、その他、スポーツアトラクションというようなことを予定しております。

その他のイベントといたしまして、環境課によります打ち水の実施及び環境に関するPRブースの設置。東京2020プロジェクトチーム（#ときおば・大学連携）によるブースの設置。その他PRブースの設置（パナソニック）というようなことを予定しております。

(3) の同時開催イベントといたしましては、赤羽スポーツの森公園で飲食の提供を行います。

それから、今後の予定ということで、3番でございますけれども、今度は名称が東京

2020大会の500日前イベントということで、来年の春に予定してございます。内容的には、毎年桜の時期に行っております石神井川沿いをウォーキングいたします桜ウォーク、こちらと同時開催ということで、今、関係課と調整を進めているところでございます。

それでは、続きまして、資料5-1をごらんください。こちらが、2年前イベント、7月29日に参加いただきますアスリートの紹介ということでございます。

まず、上田春佳さん、北区のスポーツ大使でございます。ロンドンオリンピックの4×100メートルメドレーリレーの銅メダリストでございます。

それから、朝原宣治さん、こちらは、オリンピックに4大会連続出場いたしました陸上短距離の選手でございます。北京オリンピックの4×100メートルリレーで銅メダルを獲得しております。

それから、荒川大輔さん、こちらは陸上の走り幅跳びの選手でございます。世界陸上の日本代表になっております。この朝原さんと荒川さんによる、かけっこの教室が行われるということでございます。

続いて、中村友梨香さん、こちらは、北京オリンピックに出場したマラソン選手でございます。ウォーキングと一緒に歩いていただきます。

それと、最後は、FC東京の普及部のコーチということで、J1のFC東京のコーチを招聘するという形になってございます。

続きまして、資料5-2、ちょっとナンバーが振っていないんですけども、カラー刷りのチラシがあると思います。こちらが、今ご説明した内容がこちらに入っております。後ろをごらんください。先ほど、口頭で説明しましたトレセン通りウォークのコースの案内図が出ておりまして、こちらのほうが非常にわかりやすいかなというふうに思っております。

先ほど、説明いたしましたイベントのプログラムにつきましては、中ほどに記したところでございます。

飲食ブース、それから、当日参加ブースのご案内。ちょっと字が小さくなっちゃって

ますけれども、後ほどご覧いただければと思います。

以上が、議題3、東京2020カウントダウンイベントの開催についてのご説明でございます。よろしくお願いいたします。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

それでは、皆様、いかがでしょうか。何か質問、ご意見等ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

特になければ、内容的にはお認めいただいたというところだと思いますが、イベントで一番重要なのは、参加者が多く集まるということが一番重要ですので、ぜひここにご参加の皆さんでこの情報を共有していただいて、1人でも多く参加者動員していただきますよう、よろしくどうぞお願いいたします。

では、次にまいります。

4番目、「東京五輪音頭-2020-」の取り組み状況についてということで、こちらのほうも事務局のほうからご説明願います。

【事務局】 事務局で説明いたします。

それでは、議題の4、「東京五輪音頭-2020-」の取り組み状況でございます。資料の6番をごらんください。1番の概要でございます。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の組織委員会が1964年に流行いたしました「東京五輪音頭」をリメイクいたしました、「東京五輪音頭-2020-」を作成いたしました。地域の盆踊りやイベント等におきまして、この「東京五輪音頭-2020-」を広く普及したいということで、CDの貸し出し及び振りつけ解説動画、こちらは組織委員会のホームページになりますけれども、掲載を行っているというところでございます。

今、DVDの貸し出し準備もしているところでございます。DVDはこんなような形のDVDになってございます。

3番の実績でございます。まず、講習会でございます。これは、去る、今年の3月3日でございますけれども、午前10時から11時半ということで、赤羽体育館のサブアリーナに

において、講習会をいたしました。当初80名程度ということの募集を行ったところ、実際に参加していただいたのが140名ということで、大変な人気でございました。講師については、お示しのとおりでございます。

(2)の「東京五輪音頭-2020-」のCDの貸し出しでございます。貸し出し場所といたしましては、東京オリンピック・パラリンピック担当課、中央図書館、赤羽図書館、滝野川図書館で貸し出ししております。先ほど申しましたように、DVDの貸し出しも今準備しているところでございます。まもなく図書館で貸し出しが行われます。

現在、東京オリンピック・パラリンピック担当課におきましては、このCDを貸し出ししているところでございます。

4番、今後の予定でございます。今週、この次の日曜日になりますけれども、7月8日に午前中10時から11時半という日程で、赤羽体育館のサブアリーナでまた講習会のほうを実施したいというふうに思っております。定員は150名ということで、前回並みの参加人数が見込まれているところでございます。

以上、「東京五輪音頭-2020-」の取り組み状況でございます。よろしく願いいたします。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

いかがでしょうか。質問等ございましたら、お出しいただければと思います。

というか、皆さん、この2020版の東京五輪音頭があることをご存じでしたでしょうか。見たり、聞いたりという方はどれくらいいらっしゃいますか。結構いらっしゃいますね。私は、実は、不勉強で見たことがないんですけれども、皆さんが見たことがあるということであればいいんですが、できればこの場で本当は見たかったというのがありますかね。

もうよろしいですか。

では、次のほうに移りたいと思っています。

(5)になりますが、ROUTE2020トレセン通り関連事業について、というところで。こちらのほうも事務局のほうから説明願います。

【事務局】 事務局で説明させていただきます。

議題の5でございます。資料7をごらんください。ROUTE2020トレセン通りの関連事業についてでございます。

1番の要旨でございます。このROUTE2020トレセン通りを「トップアスリーのまち・北区」のシンボルとしてふさわしい景観に整備し、東京2020大会に向けたさらなる気運醸成を図るところでございます。

現在、既にトレセン通りの起点であります赤羽駅と十条駅には、PR、広告塔、それから公共施設の総合案内板を設置しているところがございます。また、通り沿いにはシンボルデザインを用いた標識を設置いたしました。

現在は、このROUTE2020トレセン通りとその周辺の通り沿いにある街路灯に東京2020大会エンブレムのフラッグを掲げ、歩道にはオリンピック・パラリンピック競技種目の説明がありますデザイン看板、両脇にはソーラータイプのポール型の照明を設置するというので、今準備を進めているところがございます。

また、区立の稲付西山公園に設置したアスリーの手形モニュメントの台座に、北区ゆかりのアスリーの手形の設置数、これをふやしていくという事業を行っているところがございます。

2番の継続中事業の進捗状況でございます。（1）のフラッグ、看板及び照明の設置でございます。こちらにつきましては、平成30年2月に業者が確定するという予定でございます。そして、平成30年4月以降でございますけれども、①設計委託を継続しつつ、関係機関との協議の上、設置工事等の準備。

それと、②オリンピック・パラリンピックの競技説明を記した看板デザインを作製中というところがございます。

今後の予定というところで、東京2020大会、約1年前の平成31年8月末までの完成を目指してまいります。

また、トレセン通りのルート上の姥ヶ橋から赤羽商業の前、ちょうどナショナルトレー

ニングセンターですとか、稲付西山公園、そういった施設がたくさんあるところなんですけれども、そちらについてのフラッグの設置につきましては、できれば前倒しで今年度、補正予算で対応できればいいかなというふうに思っているところでございます。

(2) のアスリート手形モニュメント台座への手形取り付け状況でございます。こちら、26名の手形が設置可能でございますけれども、現在12名の手形を設置済みでございます。

①ことしの3月に6名分を追加いたしました。②新たに4名の手形の型どりが終了しております、今後モニュメントに取りつけるという予定でございます。

1枚おめくりください。2ページ目でございます。こちらが平成30年3月設置済みの手形モニュメントでございます。伊賀崎俊さん、こちらはデフリンピックに出場いたしましたサッカーの選手でございます。それから、石野枝里子さん、こちら北区のスポーツ大使、トリノオリンピックの選手でございます。それから、尾崎峰穂さん、北区在住のパラリンピック7大会連続出場で金メダル5個を獲得しているという、パラリンピックのレジェンドの方でございます。

それから、先ほどご紹介いたしました鈴木沙織さん、こちらは城北信用金庫所属の平昌オリンピックのフリースタイルスキー女子ハーフパイプの選手でございます。千田健太さん、こちらは北区在住のロンドンオリンピックフェンシングの団体フルーレ銀メダリストでございます。平野美宇さん、こちらはエリートアカデミー生としまして、北区立の稲付中学校の卒業生でございます。2016年のワールドカップの卓球女子シングルス優勝と、この6名が3月に手形を設置いたしました。

右側の3ページのほうをごらんください。新たに手形の型どりをしたアスリートでございます。先ほど平昌の応援のところでご説明しました、小池岳太選手、それから小池詩織選手、上原大祐選手、最後が内村航平選手。こちらの内村航平選手は、主にナショナルトレーニングセンターを練習拠点にしているということで、体操界のレジェンドでございます。オリンピックもロンドンオリンピック、それからリオデジャネイロオリンピックにおいて、金メダリストでございます。こちらJOCの計らいによりまして、お時間をいただ

きまして、内村航平選手の手形をとったところでございます。今後、この4人の手形につきましても、設置の準備を今進めているというところでございます。

以上がROUTE2020トレセン通り関連事業についてでございます。よろしくお願いたします。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

皆さん、いかがでしょうか。ご意見等いただければと思います。

これ、読み方が、東京五輪のほうはニゼロニゼロですが、ROUTEのほうは、ニマルニマルというような表現になるというところですよ。

いかがでしょうか。

トレセン通りという名前がついていますので、河村委員さん、何か一言ありましたら。

【河村委員】 日本スポーツ振興センターの河村でございます。

今、トレセン通りのところでちょうど私どもの国立スポーツ科学センター、ナショナルトレーニングセンターのこのちょうど通りになりますので、整備をさせていただいております。もうかなり道路がきれいになりました。

ちょうどこの資料の、ちょっと話が広がって申しわけありませんが、（北区時間2018の）123ページのところに私どもの紹介と、あと、ちょっと話が飛んでしまうんですが、ナショナルトレーニングセンターの拡充棟というのが、今準備をさせていただいております。そこもちょうどその通りに面しております。

拡充棟のほうは、オリンピック、または、特にパラリンピックの選手もご利用いただくようになっておりますので、歩道の整備が大変、選手をご利用いただくに当たりましてもちょうどで、いいことだと思っておりますので、今の計画については感謝申し上げているところでございます。

以上です。

【齊藤座長】 ありがとうございます。余り学校の、大学の宣伝をしてはいけないんですが、東洋大学は今、赤羽台に情報連携学部がありますが、オリンピックの翌年には、ちょ

うど私が今、学部長をやっていますライフデザイン学部が引っ越してまいりまして、今の情報連携の隣のほうに校舎を建てます。

実は、そのトレセンの隣に東洋大の体育館が、アスリートビレッジというのがございまして、そこと恐らく赤羽台を往復するような形の構図になるかなというふうに思いますので、トレセン通りがまさしく学生が歩くような道になるかと思えます。

よろしくどうぞお願いいたします。

この件に関して、よろしいでしょうか。

では、次の議題にまいりたいと思えます。

(6) になります。東京2020大会参加の他国競技団体の事前キャンプ誘致について、ということなんです。こちらのほうも、事務局のほう、よろしくどうぞ。

【事務局】 事務局です。それでは、議題の6番になります。

資料8をごらんください。東京2020大会参加の他国競技団体の事前キャンプ誘致についてでございます。

1番の概要です。東京2020大会に参加予定の世界各国、地域の競技団体は、時差解消や日本の気候・文化等に慣れるなど、選手のコンディション調整を目的として、事前に日本でキャンプする場合がございます。区では、組織委員会及び東京都を通しまして、キャンプ誘致に向け、世界各国、地域に幅広く情報を発信する一方で、個別・具体的な国に対しても誘致に向け、関係者等と協議をしているという状況でございます。

2番の今までの対応でございます。まず、(1)の誘致に向けた幅広い情報発信というところで、組織委員会及び東京都が世界各国、地域の選手団に候補地をPRする紹介リストというのがございます。ホームページ上でございますけれども、このホームページ上に区は、当該リスト、このリストにキャンプ受け入れ可能な区立のスポーツ施設を掲載しております。具体的には、赤羽体育館、滝野川体育館を掲載しているというところでございます。

(2)の北区PR冊子(外国語版)の作成というところでございます。外国の選手団に

対して、事前キャンプ受け入れ可能施設や北区の個性、魅力を紹介する外国語版の冊子を作成いたしました。日本語、英語、フランス語、スペイン語の4カ国語による冊子を作成しているところでございます。

(3) 個別・具体的な国に対するキャンプ誘致の取り組みというところでございます。こちら、事業者や近隣区と、個別・具体的な国に対するキャンプ誘致実現に向け、検討、協議をしてきたというところでございます。

3番の今後の対応でございます。(1)のキャンプ地の受け入れに向けた準備です。受け入れのご依頼があった場合に備え、円滑に協議・交渉に入れるように準備をしております。

(2)の個別・具体的な国に対するキャンプ誘致の取り組みでございます。現在、検討中の国につきまして、実現に向けて調査・協議を継続しているところです。誘致の実現につきましては、今後の交渉、条件次第となりますけれども、実現に向けて鋭意努力していきたいというふうに思っております。

①相手国・競技団体等との協定締結のため、事業者(代理人)とコンサルティング契約締結の準備を進めてございます。

②円滑な誘致実現を目指すため、各国競技関係者等が北区を訪れた際に、親交を深め、友好関係を築いていくというようなことを進めていきたいと思っております。

具体的な協議といたしましては、赤羽体育館がフェンシング、車いすフェンシングの国際基準に合致しているということ。それと、滝野川体育館の柔道場が、柔道の国際基準に合致しているということから、その協議を中心にして具体的な国との交渉を進めていければというふうに思っているところでございます。

以上、議題6番の東京2020大会参加の他国競技団体の事前キャンプの誘致についてでございます。よろしく願いいたします。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

では、皆さんいかがでしょうか。

【鈴木委員】 青少年地区委員会会長会の会長の鈴木です。

ちょっと今、誘致の情報を教えていただきたいんですが、赤羽体育館、滝野川体育館とおっしゃった、そのうちのフェンシングと、滝野川体育館柔道場ですか。あの滝野川体育館は手を入れないでも貸せるのでしょうか。大分もう老朽化しているところがいっぱいあるような。

それから、例えば、誘致をしたときに、宿泊というのは配慮するのでしょうか。それは全くよその区で、あるいは、よそのところで対応していただくというのをお考えなんですか。

【齊藤座長】 では、事務局の回答をお願いします。

【事務局】 事務局です。

まず、滝野川体育館なんですけれども、ご指摘のとおり、もう30年以上たっているかと思えますので、建築されてから、かなり老朽化している部分がございます。あと、具体的に外国人の選手の方が来るとなると、やはりトイレの洋式化ですとか、そういったことも必要になってくると思えますので、一応現在、それとあと、柔道場には空調の設備がないというようなこともございますので、現在ちょっとその辺のところの改善を具体的に、相手国からの要望を踏まえつつ、スポーツ推進課とどのように整備していったらいいかというところを協議しているところでございます。

できれば、なるべく老朽化した部分につきましては、整備して気持ちよく事前キャンプの相手国を迎えられたらなというふうに思っております。

それから、宿泊施設でございますけれども、宿泊施設はオリンピック・パラリンピックが非常に近くなりますと、選手たちは選手村に宿泊ということになりまして、役員の方々もそれぞれホテル等に泊まるようなんですけれども、今のところ、宿泊施設につきましては、特に北区内でというところまでは詰めていないんですけれども、ただ、具体的に事前キャンプの練習場所と近いところに泊まりたいという要望があれば、また少し検討しなきゃいけないなというふうに思っておりますけれども、北区内のホテルの数というのがまだ

まだ少ないと思うんですけれども、ただ、近年、王子駅、それから赤羽駅の近辺にビジネスホテルができるというようなことも聞いておりますので、相手国の要望等々を聞きながら、進めていきたいなというふうに思っております。

【齊藤座長】 鈴木委員さん、どうぞ。

【鈴木委員】 ありがとうございます。

今、要望があつてからきれいにするということですが、どっちが先か微妙なんですよね。きれいにして初めて来ていただく。こんな設備があるので、どうぞご利用する場になりますよというのか。今のまま、古いままをお見せして、来てくださいと言っても、どんなふうになるのかというのは、なかなか青写真が見えないとおいでいただく方にも若干ちゅうちょがあるのかなと。

まあ、区の予算とかありますから、当てもなくきれいにするというのは、難しいのは十分承知をした上の、あえてのご質問です。

以上です。

お答えは、今のさっきので。そうだろうと思っていることです。

【事務局】 ありがとうございます。

【齊藤座長】 なかなか予算もかかりますので、回答できない部分もあろうかと思いますが。

そのほかいかがでしょうか。

根本委員さん。

【根本委員】 今、鈴木委員さんからお話があつたほかに、ある程度具体的にオファーか何かあるんでしょうか、国から。それとも、これから具体的に今言った設備の件とか、いろんなことを詰めながら、具体化していくのか、ある程度もう事前に来てみたいとか、そういうオファーがあれば、何カ国。具体的には言わなくて結構でございますけれども、どのくらいの国が、あと、どの地域の国があるか、ちょっと教えていただけますか。

【齊藤座長】 私も、ここに、検討中の国という言葉がありましたので、その辺質問しよ

うかと思いましたが、ほかの自治体との関係もありますし、競争ということでなかなか出せない部分もあろうかと思いますが、出せる範囲の中でいかがでしょうか。

【事務局】 事務局です。座長のお見込みのとおりでございますけれども、全く全然当てがないということではないんです。ある程度、私どもが設備とかを公表したところ、ぜひ事前キャンプをしたいという国は幾つか具体的にございますけれども、まだちょっと具体的な交渉まで入っておりませんので、ちょっとこの場で発表というわけにはいかないんですけれども、ヨーロッパの国を交渉相手ということで、予定しております。種目については、先ほど申しあげました柔道、フェンシングというような競技を中心に考えております。

先ほど、鈴木委員からご質問がありましたけれども、口頭では施設の要望というのはある程度聞いておりますので、それを踏まえて施設整備もしていけたらいいなというふうに思っております。

【齊藤座長】 根本委員。

【根本委員】 あと、具体的にはどのぐらいの時期まで決めれば、受け入れがオーケーなのか。ぎりぎりなのか、ある程度1年ぐらい前とか、そこら辺の目安が決まっていれば。

【事務局】 事務局です。余り直前という準備が間に合いませんので、できれば今年度中にある程度、覚書の締結ですとか、そういったようなことに進められればいいなというふうに進めているところでございます。

【根本委員】 と申しますのは、すみません、うちが体協の参加32団体あるんですけれども、ある程度、滝野川体育館だとか赤羽体育館を活用させていただいてますんで、1年ぐらい前までにある程度固まれば、その当該、オリンピックの年に活用できるのかどうかということもはっきりわかると思いますもので、そのぐらいの目安でしていただければありがたいなと。

当該年度ぎりぎりとかになると、やっぱりいろんなイベントとか、競技団体の計画が立たないもので、そこら辺ご配慮いただければありがたいなと思っております。

【事務局】 体協加盟団代表の皆様方に、それから体育館利用者の皆様方になるべく迷惑

がかからないように、それはなるべく早目早目にご周知できるようにしたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【齊藤座長】 呼ぶというか、誘致できる事前キャンプ、誘致できる国の名前によっては、かなりやっぱり事前の気運の醸成につながりますので、ぜひご努力いただきたいと思えます。よろしくどうぞお願いします。

そのほかございますでしょうか。

吉村委員さん。

【吉村委員】 すみません、ちょっと北区の施設ではないんですけれども、例えば、障害者スポーツセンターさんとか、また、ほかの国とかのレベルでの施設ってあると思うんですけれども、そういうところなんかで誘致というのと、どれぐらい競合するんでしょうか。または、障害者スポーツセンターさんでは、そういう受け入れとかそういうのは何も考えられていないんですか。

【齊藤座長】 パラのほうの誘致ですね。

高山委員さん、いかがですか。

【高山委員】 現状は考えていません。まあ、これもいろいろあって、パラのほうも競技内容とかいろいろあって、競技の行程も決まっていたのもありまして、今からうちがとなると、うちは、あくまでも東京都民の方の施設ですので、なかなか難しい部分もあって、そういった話が、例えば北区さんから連携して、パラリンピックとオリンピック連携して、赤体で車いすフェンシングの誘致が決まったと。その中で、うちのトレーニング施設を使って、ちょっと事前のウォーミングアップをやりたいとか、そんな話があれば検討する余地があるのかと思いますが、今のところは決めていません。

【齊藤座長】 事務局のほうで、何かお話しできるものはありますか。

【事務局】 事務局です。パラ種目については、まだ、先ほどのオリンピックの種目がまして、ちょっとまだお話しが進んでいないものですから、そういったような話が出てきた折には、また東京都障害者総合スポーツセンターさんとも相談させていただくということ

があらうかと思しますので、よろしく願いいたします。

【齊藤座長】 河村委員さん。

【河村委員】 日本スポーツ振興センターの河村でございます。この話の流れになりましたので、うちのほうも少しお話ししたほうがいいのかと思ひまして、マイクをいただきました。

私どもも、ナショナルトレーニングセンターがございます。当然、日本のトップアスリートのための支援する施設でございます。現状の利用予定という、これは明確ではございませんですけども、オリンピック・パラリンピックの各関係、JOC、JPCさんになるわけでございますけれども、そういう方からは、日本の活動拠点という位置において、という形で使いたいというお話は少し承っております。

ですから、先ほど来の事前キャンプ的な意味で、私どもの設備を使うというのは、今のところ想定はしていないと。ご参考までに一応ご紹介です。

【齊藤座長】 皆さん、よろしいでしょうか。ご理解されましたでしょうか。

そのほかございますでしょうか。

では、特にないということですので、次の議題にまいりますが、次はその他というところですが、これは事務局のほうで何かご用意されているものはありますでしょうか。

【事務局】 事務局です。東京都のほうで、都市ボランティアについての要綱が出ましたので、情報提供させていただきます。

2018年6月11日に、東京都の東京オリンピック・パラリンピック準備局から、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の都市ボランティア募集要項が公表されました。

これは、東京都が主体となって、空港、駅などの交通機関や観光地などで、道案内などをするなど、来日する外国人、インバウンドに対して、おもてなしをするために活動していただくボランティアになります。

全体で約3万人程度が必要なボランティアのうち、2万人程度を募集する予定であります。ことし、9月中旬から12月上旬に募集、応募の登録がありまして、その後、書類選考

や面接などを経て、来年9月ごろ、ボランティアとして決定するという事となっております。

この件に関しましては、東京都のボランティアのものでありますので、詳しくは東京都ホームページ並びに都の準備局のほうにお問い合わせいただきたいと思います。区としましては、委員の皆様におかれましては、ご自分の活躍されている場所で積極的な周知、啓発をお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

なお、東京2020組織委員会が主体となる大会ボランティアに関して、競技会場や選手村運営等のサポートをする大会ボランティアに関しても、近いうちに要領が公表されると伺っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

これは、東京都のほうで一括して募集という。分けてというわけじゃない。

【事務局】 はい。

【齊藤座長】 委員の皆さん、よろしいでしょうか。

情報提供がございました。

そのほか、皆さんのほうから何かございますでしょうか。

よろしいですか。

【事務局】 すみません、事務局です。

ちょっと別件なんですけれども、東京2020と祭りをつながろうというキャンペーンを今やっているところでございます。この祭りのガイドラインというのが出まして、東京五輪音頭をみんなで踊りましょうですとか、それから、東京2020の応援プログラムという形で登録しましょうですとか、あとは、東京2020の公式ライセンス商品、浴衣ですとか、はっぴですとか、きょうお配りしましたうちわですとか、そういったものを使って祭りを盛り上げていってくれというようなことも、組織委員会のほうから通知が来ているところでございます。

また、今度の北区自治会連合会におきまして、またご説明させていただきますけれども、各地域振興室にこちらの東京五輪音頭のDVDも配付しておりますので、各地域でこの東京五輪音頭を中心にいたしまして、祭りで盛り上がっていただければというふうに思っております。

そういったようなことも含めて、今後いろいろな分野でこの東京2020大会の気運醸成を図っていきたいと思いますので、きょうご参加の委員の皆様方にも、ご協力のほうよろしくお願いいたします。

以上です。

【齊藤座長】 ありがとうございます。追加の情報提供でございました。

皆さん、よろしいでしょうか。

それでは、次に4番目、今後のスケジュールのほうの確認となりますが、こちらのほうも事務局からでよろしいですか。

【事務局】 事務局です。本協議会につきましては年2回ということで、ことしは本日で1回目をやらせていただきまして、第5回目は12月に行う予定で考えております。

ただ、皆様のご要望で早くしたほうがいい、遅くしたほうがいいというのであれば、その点は配慮いたしますので、よろしく申し上げます。

以上です。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

【事務局】 もう一点、事務局からよろしいでしょうか。

先ほどと重複いたしますけれども、議題の3番でお話しいたしました東京2020大会カウントダウンイベントでございます。この一番最後の今後の予定という、2ページ目に書いてあるんですけれども、500日前イベントでございます。

先ほど説明いたしましたように、桜ウォークとあわせて合同開催というようなことを考えてございますけれども、また、委員の皆様から、こうしたほうがいい、ああしたほうがいいというようなご意見がありましたら、またお聞かせいただければと思いますので、ま

たそういったような意見をお聞きするようなご通知をまた差し上げたいと思いますので、その節はよろしく願いいたします。

以上です。

【齊藤座長】 それでは、そのほかになければ、きょうはこれで終了したいと思いますのですが、夕刻の時間ですので、なるべく1時間以内ということで考えておりましたが、ほっとしております。

次回は、まだ日は決まっておりますが、12月ということで予定しておりますので、またいろいろよろしくご参集のほうお願いいたします。

それでは、きょうはこれで終了いたします。ありがとうございました。

午後8時10分閉会